

新名称をAIFNに

—ジョン・ベナード氏が会長就任—

NNFAジャパン年次総会開く

NNFAジャパン(日本栄養・食品協会)は5月27日に開いた年次総会で、新名称をAIFN(呼称:アイファン、国際栄養食品協会)に変更し、新会長にNPA(米自然食品協会・元・米NNFA) / US CRN(米栄養評議会)理事のJohn Venardos氏が就任することが信託された。

米NNFAと協働体制を進めてきたNNFAジャパンは、2008年6月に米国の有力な業界団体であるCRN(米栄養評議会)との協働提携を発表し、規制緩和やサプリメント基本法などの実現などを支援する協働活動を行ってきた。今回米国のNNFAが名称をNPA(米自然食品協会)に変更したことを受け、これまで

の活動に加え日本独自の活動も行う業界団体AIFN(Association of International Foods & Nutrition)として新スタートした。AIFNは橋本正理理事長と末木一夫専務理事が留任、新たに副理事長としてカントックスジャパンの林辰行氏、グローバルニュートリショングループの武田猛氏、ホリスティックハーブ研究所の橋口智親氏が就任した。

また、AIFNは日本では初となる健康経済理論「ヘルスGDP」を提唱していくことを示した。ヘルスGDPは、GDPから医療費の支出など病気による損失を引いた指標である。ヘルスG

DPを高めるためには医療費の削減が必要で、健康補助食品の役割が期待されている。米国ではサプリの利用でどれだけ医療費が削減されるかというルーウェン研究がカルシウム、葉酸、オメガ3、ルテインなどで行われ、新たな薬事政策理論として世界的に注目されている。AIFNはこの新しい理論を通じて国内サプリの医療費削減に寄与できる経済効果を検証・算出するための学術的研究プロジェクトを推進する。

オリザ油化 総合的な安全・安心に注力 原材料GMP適合認定受ける

オリザ油化(愛知県一宮市、05888・88514)は5月20日付けで、日本健康食品規格協会(JIHFS)から「原材料GMP適合認定」を受けたことを明らかにした。すでに2002年9月には品質規格ISO9001の認定を受けており、総合的に安全・安心なものの作りに入れている。

同社は、1989年に米糠搾油メーカーとして創業後、1980年には医薬品や健康食品分野に

進出し、1991年に協力会社を含めた加工一貫生産が可能となり、受託生産も開始した。2007年には清浄度1、2の2区分とした、乾燥造粒から粉体混合・篩過設備までのラインプラントおよび原料倉庫、製品倉庫を収納した新工場が完成した。現在では食品素材、食品添加物、健康食

品素材、機能性食品素材、化粧品素材、医薬品原料、医薬品中間体、化成品、肥・飼料など多岐に渡り、自社商品および受

託品を手掛けている。同社の特徴は、製品に求められるエビデンスの重要性を認識し、主に植物などの機能性成分の同定から、生理活性の評価まで自社で一貫して取扱いできること。また多様なニーズにこたえるよう多品種の製品および素材を供給できるよう豊富な品揃えを実現している。同社のコンセプトは「化学と技術を駆使して自然の力を最大限に引き出し、あらゆる分野へ応用・活用し安心・安全なものを提供

コンビニ

アンチエ

イーエム・ピーエム・ジャパン(東京都港区、03・5544・2690)は、アンチエイジングサイエンスと共同で、アンチエイジング研



Association of International Foods & Nutrition

新たな活動では、統合医療領域におけるサプリメントの啓発・普及・研究などの分野で日本統合医療学会(IJM)と相互協力体制を作ることを発表した。日本統合医療学会は昨年日本代替

は昨年日本代替

は昨年日本代替

は昨年日本代替

は昨年日本代替